

公開セミナーでの話題提供

市川治療室 No.343.2017.02

1月は三回、以下の会場で「鍼灸マッサージ・鍼灸師・鍼灸師の活動・鍼灸の費用対効果」などを発表する機会をいただきました。

1・1月19日（木）

東京女子医大東洋医学研究所クリニックの医局勉強会（東京都北区駒込）

東京女子医科大学東洋医学研究所クリニックの伊藤隆教授をはじめ医局先生・関係者約20名の方々に以下の話題提供をさせていただきました。

- ・ 在宅（訪問）鍼灸マッサージについて
医療保険利用の訪問鍼灸・訪問マッサージ
在宅鍼灸マッサージの費用、同意書と再同意
その他…「真に必要なが認められる場合の往料費について」
- ・ 多職種との連携について
地域ケアシステム内の「その他の専門職」としての鍼灸マッサージ師
報告書、サービス担当者会議、リハビリテーション会議、研修会など

女子医科大学東洋医学研究所クリニックは「漢方」専門であり、同じビルの7階に「鍼灸院」が併設されています。漢方外来の患者さんの約20%が「鍼灸治療」をドクターから紹介、または本人が希望されるそうです。（鍼灸治療費は自費）

在宅での鍼灸マッサージ、保険利用の場合の注意点、ドクターとの連携の方法など話題提供後に多くの質問をいただきました。

2・1月25日（水）

統合医療展2017（東京ビックサイト・西ホール）

25日・26日の二日間で約16000名の来場がある統合医療展で以下の話題提供をさせていただきました。（昨年に引き続き二回目となります）

- ・ 鍼灸刺激の適応事例と他専門職との連携方法について
統合医療、地域包括ケアシステムと鍼灸・鍼灸師のポジション
鍼灸師について。鍼灸について。鍼灸刺激の適応事例（7例紹介）
他専門職との連携方法（報告書・会議参加・研修会など）
報告書の具体例

約90名（医療専門職、介護専門職、医療介護業者、一般来場者など）の方に50分の公開セミナーに参加していただきました。公開セミナー後の名刺交換では他職種との連携方法などに関する質問を多くいただきました。

3・1月26日（木）

慶応医科大学看護医療学部公開セミナー（東京都新宿区信濃町）

慶応医科大学看護医療学部の加藤眞三教授をはじめ看護師、看護学生、難病の会代表者、一般市民の方々に以下の話題提供をさせていただきました。

- ・ 鍼灸師の活動について
鍼灸師について。鍼灸ケアについて。鍼灸ケアの費用対効果について。
鍼灸師の活動について（スポーツ鍼灸ケア・被災地鍼灸ケア・介護予防鍼灸ケアなど）
鍼灸師の目指すものについて「健康＝患者の（社会）参加」

加藤眞三先生が主催する「患者学」という公開セミナーで誰でも参加可能です。「患者に学べ、患者も学ぶ」という考えのセミナーで、私は一年前から参加させていただいています。

来年度からは第三または第四土曜日の14時からの開催となります。誰でも参加可能です。毎回前半は講師の話題提供、後半は「ワールドカフェスタイル」のグループMTです。

この会に参加して「ワールドカフェスタイルのグループMT」を知ることができ、その後、私が主催する日本鍼灸師会、東京都鍼灸師会の研修会ではこのスタイルを参考にしたグループMTを行っています。

参加者が意見を出し合うこのMT形式は「社会参加」の一つの形だと思っています。